

定住対策課からのお知らせ

クリスマスカップリングパーティの参加者を募集します

結婚したい気持ちはあるけれど、なかなか理想の相手と巡り会えない、また巡り会う機会がないという独身の人を対象に、婚活イベントを開催します。今回は、次のとおり年代別の2部構成です。楽しく食事をしながら素敵な出会いを見つけませんか？



- 【日 時】 12月7日(日) 第1部：アラサー 午前11時～午後2時
第2部：アラフォー 午後3時～午後6時
- 【場 所】 レストラン「ラ・ペーシュ」(岡山市内)
- 【参加資格】 第1部：アラサー 25歳～37歳までの独身男女
第2部：アラフォー 35歳～49歳くらいまでの独身男女
※男女ともに居住地制限はありません。(学生不可)
- 【参加費】 男性：3500円 女性：2500円
- 【募集定員】 第1部・第2部とも男女各15人(申し込み多数の場合は抽選)
- 【募集期限】 11月27日(木)
- 【申し込み】 クリスマスカップリングパーティ事務局
(有)チアーズ ☎086-484-0020



申し込みQRコード

■問い合わせ 定住対策課定住推進係 ☎21-0282

秘書政策課からのお知らせ

高梁ふるさとづくり功労賞表彰を募集します

地域の個性や特性を生かし、魅力あふれるふるさとづくりに意欲的に取り組んでいる個人、団体、企業の功績をたたえるため、「高梁ふるさとづくり功労賞表彰」を実施します。次のとおり表彰候補者の公募を行いますので、各地域で活躍されている人の推薦をお願いします。

- 【表彰対象者】 市民の誇りとなる顕著な功績を上げ、ふるさとづくりに貢献した個人、団体、企業を対象とします。(功績の種別は問いません。)
- 【推薦方法】 推薦書に表彰候補者の氏名、住所(団体または企業の場合は、団体・企業名、所在地)、表彰理由等を記載の上、提出してください。(推薦書は、秘書政策課、各地域局に備えてあります。また、市ホームページからもダウンロードできます。)
- 【公募締切り】 12月19日(金)

■問い合わせ・提出先 秘書政策課企画係 ☎21-0208

吉備川上ふれあい漫画館からのお知らせ

漫・賀・年賀状コンテスト2015を開催します

来年の干支「未(ひつじ)」にちなんだ漫画年賀状を募集します。絵手紙風の作品なども対象となります。楽しい作品をお待ちしています。



2014大賞作品 佐藤圭子さん(東京都)

- 【募集テーマ】 未(ひつじ)
- 【募集期間】 12月1日(月)～平成27年1月10日(日)まで(当日消印有効)
- 【応募規定】 はがき、または同サイズ(100mm×148mm)のケント紙・画用紙。パソコンによるCG作品は可、素材集の使用は不可。未発表の作品、自作に限る。
- 【賞金・商品】 大賞(1点)…3万円、準大賞(1点)…1万円、優秀賞(10点)…川上地域特産品
- 【審査員】 南一平さん(漫画家)
- 【応募先】 716-0201 高梁市川上町地頭1834
吉備川上ふれあい漫画美術館「漫・賀・年賀状コンテスト」係

■問い合わせ 吉備川上ふれあい漫画美術館 ☎48-3664

産業振興課からのお知らせ

市内共通商品券(備中松山銀札)を発行します

高梁商工会議所と備北商工会は、市内で使用できるプレミアム付き商品券を発行します。

- 【内 容】 1,000円×21枚つづり
- 【販売価格】 20,000円(1,000円のプレミアム付き)
- 【販売期間】 12月1日(月)から売り切れるまで ※購入は、1人50セットまで。
- 【使用期間】 12月1日(月)～平成27年2月28日(土)
- 【加盟店】 商品券購入時に加盟店の一覧をお渡しします。

■問い合わせ 高梁商工会議所 ☎22-2091、備北商工会 ☎42-2412



◆ 在宅医療連携拠点事業通信 ◆ 第10回

■問い合わせ 保険課連携推進係 ☎21-0304

医療と介護をつなぐ～在宅医療コーディネーター～

今回は、川上診療所の菅原英次所長と大田文子看護師長に「在宅医療コーディネーターの役割」についてお話を伺ってきました。

川上地区は高梁市中心部から車で40分ほどの中山間地域にあるため、医療・介護サービス資源が限られています。そのためサービスを効率的に提供していくことが重要であり、医療と介護を強く結びつけることが課題となります。在宅医療コーディネーターは、在宅で生活している人の症状や容態はもちろんのこと、地域の見守りや生活状況などの情報を集約する窓口となって、地域住民の在宅生活を支えている専門職です。

大田さんは、在宅医療コーディネーターであると同時に看護師でもあるため、豊富な医療知識に基づいて患者さんの相談に応じたり、本人が希望する在宅療養を進めるために必要な医療機関や関連職種との連携の橋渡しを行っています。

また、川上診療所は在宅医療の推進に力を入れており、通院時から退院後の在宅療養を視野に入れて診察を行っています。在宅医療と聞くと終末期を想像していましたが、在宅を中心にして診療所を活用し、在宅で心豊かな生活の実現を目指していることがわかりました。

少子高齢化が進み、人口が減少している現代の日本で、医療機関が果たす役割は少なくありません。最後に菅原所長が「在宅医療コーディネーターがいるおかげで、医師は診療に専念することができます」との言葉に、深い信頼関係があることを感じました。

皆さんも、少しでも健康状態で不安なことがあれば、在宅医療コーディネーターに相談してみてください。

【インタビュー】 吉備国際大学学生調査隊の河野あずさん、福田歩さん(社会福祉学科3年)

